

「FVM大賞2024」受賞企業の紹介

大賞



F. MED株式会社

代表取締役、CEO 下村 景太 氏



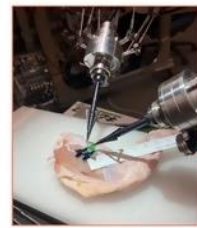
1974年生まれ。複数の医療機器メーカーや商社で営業、マーケティング、新事業開発の業務を経験。(株)アステム(福岡市)在籍時に、共同設立者で現CTOの小栗晋氏が九州大学病院で取り組んでいたマイクロサージャリー支援用ロボットの開発プロジェクト(2013~22年、うち2016~17年は福岡県産業振興会議が支援)に参画。事業化を目指し、2021年3月小栗CTOと共にF. MED株式会社を設立。

マイクロサージャリー支援ロボットの開発

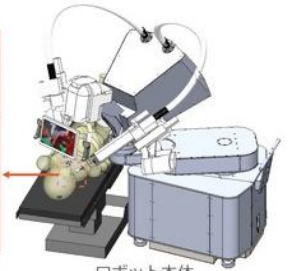
マイクロサージャリーを支援するロボットを開発する。マイクロサージャリーは顕微鏡を用いた繊細な手術手技で、患者の生活の質や予後改善のための手術に活用される。しかし、細かな手作業なため習得が難しい。医師の動作を忠実に、かつ手振れ制御や縮小化をして再現出来るマニピュレータを搭載した支援ロボットにより、習熟期間の短縮と、より安全かつ効率的に手術を実施出来る環境の構築を目指す。



メインコンソール
(操作側)



独自開発の
微細作業用マニピュレータが
細かな作業を支援



ロボット本体
(動作側)

優秀賞



トイメディカル株式会社

代表取締役社長 竹下 英徳 氏



熊本県出身、50歳。2013年にトイメディカル(株)を設立。2005年第三回日本ものづくり大賞九州経済産業局長受賞。友人が人工透析患者になったことをきっかけに“塩分を気にせず美味しいものを食べられる技術”の開発を大学と共同で取り組む。2018年、長年の研究を経て日本で初めて塩分吸収をコントロールする技術を開発し、その技術を用いたサプリメント「デルソル」を発売。

塩分吸収抑制技術を利用した美味しい減塩食の開発

現在、世界の高血圧患者は13億人を超えるといわれ、その原因の一つである“塩の摂り過ぎ”は最も大きな健康課題の一つと言われている。しかしながら、その解決策は減塩しかなく、食事がもの足りなくなることから多くの方を悩ませていた。弊社は、さらなる研究を続け、ようやくデルソルの技術を食品や調味料に応用できるようになり、『体内に吸収されない塩』を開発した。



特別賞



株式会社電脳交通

代表取締役社長 CEO 近藤 洋祐 氏



徳島市生まれ、メジャーリーガーを目指しアメリカ留学。
帰国後、吉野川タクシーに入社、
2012年に代表取締役に就任し、
債務超過寸前の状態からV字回復を実現、
2015年電脳交通を創業し代表取締役に就任。
徳島大学客員教授。

地域と共創するのりあいタクシー・地域交通事業

タクシー事業者向けにクラウド型配車システム「DS」及び配車業務委託サービス「TaxiCC」など業界の人材不足解消・業務負担軽減につながる事業を展開し、毎年約200%ペースで導入車両数が拡大、全国47都道府県のタクシー事業者に導入されている。また自治体や民間企業向けに地域公共交通の課題を解決する「DS demand」を提供し、2024年4月から開始された日本型ライドシェアへも対応。



特別賞



株式会社エニキャリ

代表取締役 小寄 秀信 氏



Eコマース黎明期より大手小売企業のEC運営に従事し、EC事業子会社代表を務める。その後、ECシステム会社、中国でのチェーンストア事業および越境EC事業の代表を歴任。2019年に物流DX企業であるエニキャリを創業。現在は、日本初のEコマース学術研究機関である東海大学総合社会科学研究所Eコマースユニットの客員教授として研究・教育に従事しながら、エニキャリの代表を務める。2023年9月に福岡に九州支社を開設。

ラストマイル物流DX事業

当社の開発するシステムADMS(アダムス、エニキャリデリバリー・マネジメントシステム)は、ラストワンマイルに特化した配送システムである。特徴は大きく2点で、
①店舗配送とEC宅配・ルート配送の両方を一元管理でき、効率化とコスト削減を図ることができることと、
②エニキャリが提供する全国配送網とシステム連携が可能
なため、自社配送網をリスクなく構築できることである。

